

企業の経営に役立つ総合的な情報誌

あきた 商 Biz⁺ plus

2026年5月発行

Vol.614

秋田県商工会連合会報

奇数月1日発行

発行日/令和8年5月1日

(昭和45年12月3日第3種郵便物認可)

変革に挑戦

定年を機に挑戦！

「あったらいいな」を自ら実現

おひさまランドリー
代表 中山 勇子さん
(大館北秋商工会)

おひさまランドリーは「道の駅ひない」向かいに位置する無人コインランドリー店です。「こんなお店があったらいいな」とこの地域のニーズを感じていたため、商工会の創業支援を受け、定年退職を機に自らの想いを実現させました。

商工会からの提案を受け、キャッシュレス決済や稼働データ管理が可能な機器を導入し、補助金を活用できたことは、とても感謝しています。

令和4年にオープンした店内は明るく開放的で、老若男女問わず、快適に待ち時間を過ごすことができます。

中山さんは、「お客様には当店を上手に使っていただいで、自分の時間を作って欲しい。将来はカフェも併設したい」と、更なる挑戦にも意欲的です。



デジタル地域通貨「みたねコイン(仮称)」を活用した地域経済の活性化

三種町商工会では、令和8年度中にデジタル地域通貨「みたねコイン(仮称)」の運用開始を目指しています。地域内のお金の流出防止と好循環の仕組みづくりにより、地域経済活性化につなげていく取組について、ご紹介します。

きっかけ

- ・三種町では、少子高齢化の進行や地域の商工業者の減少に伴う市場縮小に対する経営課題の解決が求められている。
- ・生活の基盤となる地域コミュニティの維持・活性化等が地域課題となっている。
- ・行政では、デジタル化やDX推進による行政サービスの向上を目指している。
- ・これらの様々な課題解決に向けた取組・将来を見据えたまちづくりのツールの1つとして「みたねコイン(仮称)」の導入が検討されることとなった。

「みたねコイン(仮称)」とは

現在開発中のサービスは以下のとおりです。

加盟店	三種町商工会会員である事業所
利用者	利用登録が完了したすべての方
地域通貨の提供形態	・スマホアプリ ・ICカード
効果・機能	<p>スマホアプリを用いた「デジタル地域通貨」の導入は、誰でも簡単に様々な機能が使えることから、事業所・消費者・行政の全てに多くのメリットがあり、地域の活性化や経済効果が期待できます。</p>

スマホアプリのイメージ▶

これまでの活動

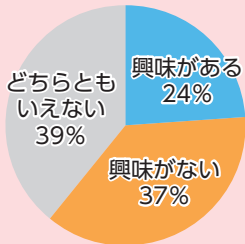
令和6年 4月	・ 商工会役員、行政、関係機関等で構成する検討委員会を開催
11月	・ 東川町商工会（北海道）へ先進地視察研修を実施
令和7年10月	・ 行政への事業説明会を開催
11月	・ 会員事業所への意向調査を実施



東川町商工会にて事例を学ぶ

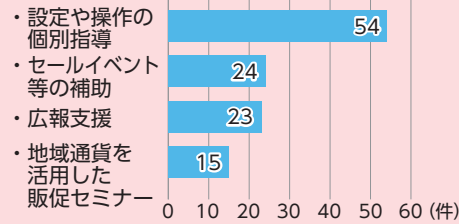
意向調査の結果(抜粋) 意向調査の結果は以下のとおりです。(回答数=106)

(図1) 地域通貨を自社に導入することに興味はありますか



・普及させていくためには、「どちらともいえない」と回答した層に対して、今後どのように訴求していくかが課題となる。

(図2) 導入する場合、どのような支援があればよいですか



・「設定や操作の個別指導」に期待する声が多く、サポート体制を手厚くする必要があります。

今後の活動

令和8年度に実施する事業内容は以下のとおりです。

加盟店募集

- ・ 事業所向け操作説明会の実施
- ・ 端末等の導入支援
- ・ 経費負担軽減に向けた運用の検討

開発

- ・ プラットフォーム業者の選定
- ・ 町民祭等のイベントでの試験運用の実施
- ・ ふれあいバスでの試験運用の実施
- ・ マイナンバーカード連携の検討

利用促進

- ・ 利用者向け説明会の実施
- ・ 常設相談窓口の設置
- ・ 利用者増につながる効果的なセールやイベントの企画・実施

行政との連携

- ・ 利用可能な行政サービスの拡充

令和9年3月に運用開始予定

「みたねコイン(仮称)」を導入することで、三種町が「みらい創造プラン」で掲げる「人・地域がつながり、元気を未来へつなぐまち」の実現を目指します。



商工会の声

三種町商工会 田中 洋平 会長

三種町では、少子高齢化が加速している状況の中で、事業者がどのように事業を継続していくかが大きな課題となっています。

そこで、地域内でお金を循環する仕組みがあれば、地域の事業者が潤い、人が集まり、まちの賑わいを取り戻すことができると考え、「デジタル地域通貨」を導入することとしました。

県内では導入事例がなく手探りの状況ですが、この「デジタル地域通貨」を核として、新たなまちづくりを模索していきたいと考えています。





創業で地域を元気に！こだわりの県産食材で挑戦

県連合会ホームページにて掲載している、先輩創業者インタビューの中から、二ツ井町商工会会員の事例をご紹介します。

会員事業所の取組事例

チェケ ライス
Cheke Rice

代表 菊地 貴郁さん 創業 令和3年3月

事業内容 「秋田ガパオライス」の持ち帰り飲食サービス業



キッチンカー「チェケ号」

「秋田ガパオライス」とは

タイ料理ガパオライスをベースに、県産食材でアレンジした創作メニュー



主な県産食材

- ・北秋田市のホーリーバジル(ふかさわファーム)
- ・北秋田市の卵(松岡養鶏)
- ・北秋田市の精肉(肉のまつお)
- ・二ツ井町の特別栽培米(白神田園)
- ・男鹿市のしょつつる(諸井醸造)
- ・能代市のパクチー(能延通商)
- ・白神ねぎ
- ・白神山水

など計10種以上

※当日のメニューによって変動

創業までの道のり

秋田ガパオライス誕生の背景

- ・好物であるガパオライスを地元で気軽に食べられる場を作るにあたり、県産食材を活用して地域活性化につなげることを意識した。
- ・県内の生産者を直接訪問して実際に食べ比べながら自身の理想の味に最も合う食材を選定し、試作を重ねてレシピを一から構築した。
- ・起業家向け交流会やセミナーへの積極的な参加、地域おこし協力隊や農家などとのつながりによる紹介、FacebookやInstagramの活用により、ネットワークを形成した。

商工会との関わり

- ・創業計画書の作成支援を受けた。
- ・キッチンカー導入やレトルト商品開発に向けた事業計画策定及び補助金申請の支援を受けた。

など

事業者の声 代表 菊地 貴郁さん

最初は右も左も分かりませんでしたが、商工会に相談したおかげで不安が軽くなり、新しい取組のたびに的確なアドバイスもいただきました。

ありがたいことに「秋田ガパオライス」はリピーターが多く、本場タイの観光客からも注文をいただいております。今後も県産食材で地域を盛り上げながら、新たなレトルト商品開発や北関東への出店など更なるチャレンジにも取り組みたいです。出店情報等は、ぜひInstagramをご覧ください。



Instagram ▶



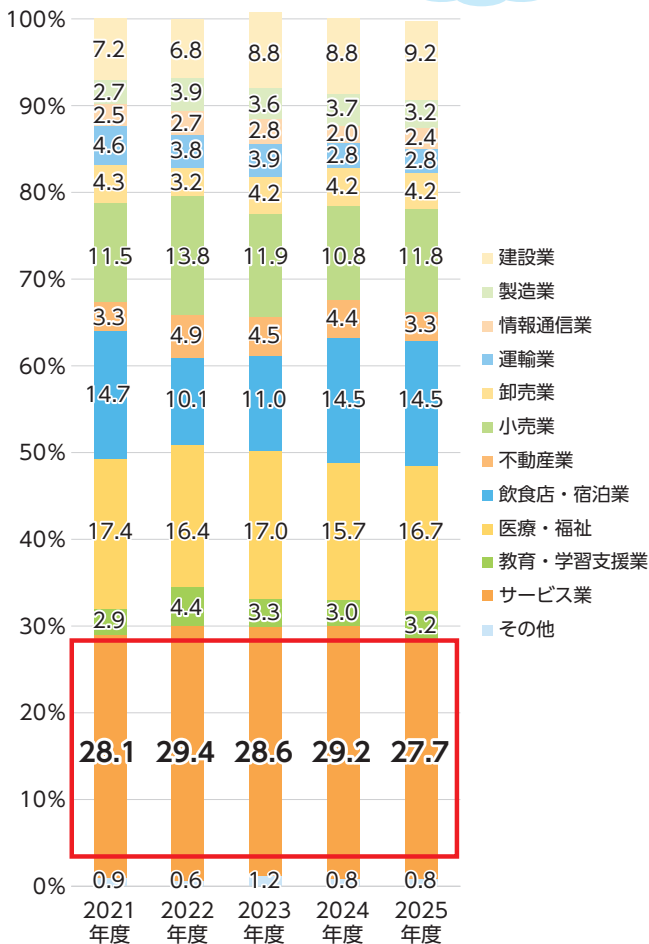
開業の状況と課題

今回は、日本政策金融公庫が発表した「2025年度新規開業実態調査」等を紹介します。
開業者の6割は、売上げが「増加傾向」となっており、豊かなキャリアが着実な成果に結びついています。

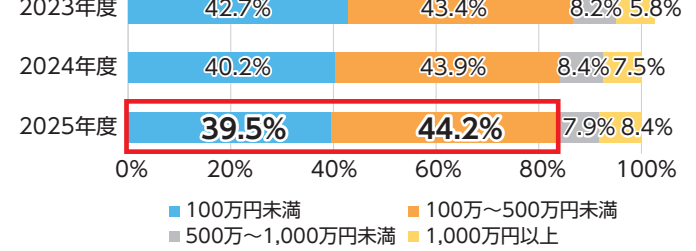
開業の状況・課題

※日本政策金融公庫総合研究所「2025年度新規開業実態調査」から引用し、加工。(n=1,990)

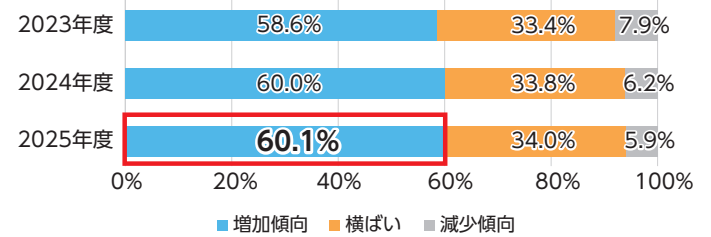
(図1) 開業業種



(図2) 1カ月当たりの売上高



(図3) 開業者の売り上げ状況



(表1) 開業時の課題 上位5項目

順位	項目	割合
1	資金繰り、資金調達	56.9%
2	顧客・販路の開拓	49.9%
3	財務・税務・法務に関する知識の不足	36.4%
4	仕入れ先・外注先の確保	18.9%
5	従業員の確保	16.7%

まとめ

- ・開業業種は直近5年間、「サービス業」が約3割と最多であり、他業種と比べて比較的开業しやすい傾向がうかがえる。(図1)
- ・月商500万円未満が多数を占めるものの、開業者の約6割が売上が「増加傾向」にあり、過去2年より好調である。(図2)(図3)
- ・課題は「資金繰り、資金調達」が約6割で最も高く、次いで販路開拓や財務・法務などの専門知識の不足が大きな壁となっている。(表1)

商工会は、あなたの創業を全力でサポートします！

➔ 資金調達 創業のための補助金申請支援

創業に必要な費用をサポートするための補助金を提案、申請支援いたします。

➔ 専門家派遣による個別指導

創業に関する課題をピンポイントでアドバイスいたします。



令和8年度 県連合会重点推進事業

3月24日(火)の臨時総会で、令和8年度事業計画が承認されました。
「秋田の未来を創る協議会」の活動による地域経済活性化、人手不足といった事業者が直面する経営課題の解決に加え、着実に成果を上げるための組織基盤の強化を重点推進事業として実施します。

重点推進事業の主な内容

地域経済活性化

「秋田の未来を創る協議会」活動による地域経済活性化の推進

- ・ 「明るい秋田」の実現に向けた4つのテーマ別活動の推進
 - ▼テーマ
 - ・ 東能代駅から能代駅間の「スイッチバック化」の実現
 - ・ 秋田港・船川港・能代港の連携強化
 - ・ 将来の産業界を支える人材の育成
 - ・ 県南“食と文化”に関する広域観光の強化
- ・ 新たな地域経済活性化につながるアイデアの検討



個社支援

人手不足をはじめとした経営課題解決支援の推進

- ・ 中小企業庁以外の省庁の施策にも精通した人材の育成
- ・ DX推進支援
- ・ 「次世代につなぐ味」を存続させるための後継候補者育成事業の実施
- ・ 県連合会及び21商工会に「人手不足対策相談窓口」を設置
- ・ 人手不足解消や賃上げに係る課題解決支援



組織基盤強化

財政基盤強化のための収益事業の推進

- ・ 商工会の財政健全化に向けた支援
- ・ 全県共済推進研修会の開催
- ・ 好事例の収集と共済ニュース等による情報提供
- ・ 役員会、部会等で加入促進PRを行う際の県連職員の派遣



広告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する4つの安心サポート

商工貯蓄共済

経営指導
経営のトータルサポート

生命保障
万が一に備えた
リスク管理サポート

資金繰り
企業の資金繰り
サポート

貯蓄
資産の充実
サポート

どちらも毎月
2,000円
から

あなたも家族もまるごと守る!
頼れる補償の商工会の福祉共済

全国商工会会員福祉共済

「けが」の
補償

「病氣」の
補償

「がん」の
補償



※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号秋田県商工会館内 電話／018-863-8491(代)
購読料／1部10円(会費に含む)